

令和 7 年 10 月 27 日

寒川学校給食センター

地元農産物でおなかいっぱい ～寒川産新米を町立全小中学校の給食へ提供開始～

寒川町では、令和 7 年 10 月 28 日から全小中学校の給食で地元寒川産の新米「はるみ」を提供します。

令和 5 年の給食センター稼働以降、寒川町はさがみ農業協同組合と連携し、地元の寒川産野菜や果物を積極的に学校給食に取り入れてきました。その結果、地元農産物の使用量は着実に増加してきました。

そして、米価格が高騰している社会情勢の中、子どもたちに地元寒川産の美味しいお米を提供したいという強い思いから、町とさがみ農協が協議を重ね、新米を納品できる運びとなりました。

学校給食は、町の未来を担う子どもたちにとって大切な食育の場です。地元の農産物や日々食べる「ごはん」を提供することにより、子どもたちは自分の住んでいる町の食文化や農業、生産者を知ることができます。そして、これが地域農業の活性化にもつながると考えています。

子どもたちに伝えたところ、寒川のお米を食べられることを喜んでおり、その日のうちに「今日の給食は寒川の新米ですか？」という声上がるなど、関心の高さを感じています。

今年度は約 2.5 トンの寒川産米を提供する予定で、今後は提供量を増やしていけるよう取り組んでまいります。



さがみ農協にて検査する様子



寒川学校給食センターに納品された寒川産米の様子



問い合わせ先

教育委員会 寒川学校給食センター 所長 中嶋 裕子 ☎0467(75)6706